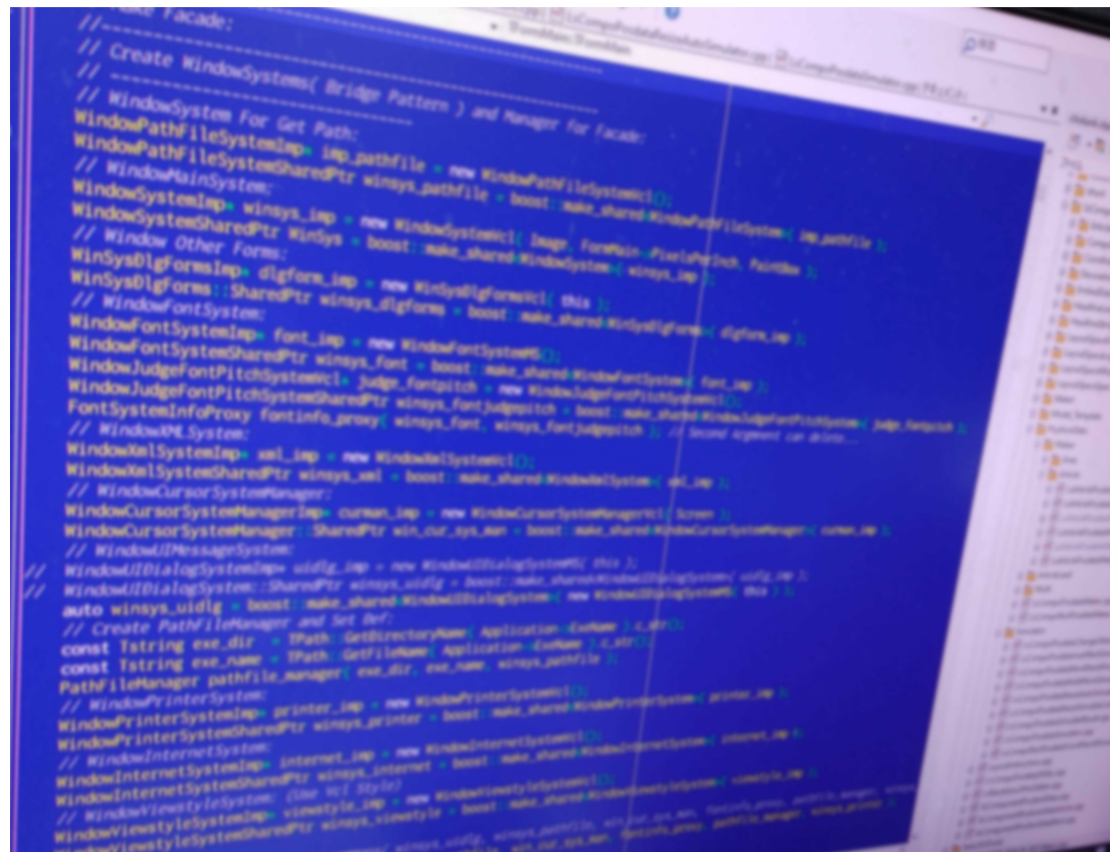


# 朝刊太郎改を公開



「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

新聞専用のDTPソフト「朝刊太郎改」が正式公開された。記事操作だけでなく見出しや画像など新聞独自の編集が手軽に行える、20世紀末に初公開された旧「朝刊太郎」の後継版。基本操作はおおむね踏襲しつつ、大幅な機能強化が図られている。正式版としては18年ぶりとなる。

## 見出し「エト」キ 箱組

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

本格的な「新聞」を作成するための機能を備えている。新聞独特の見出しは、もちろん、写真の説明文処理や、コラムや連載等の箱組も作れる。記事処理は、新聞の禁則処理を実現、ワンプロなどの「ぶら下げ」や文字語などの無、常に行末が揃った美しい体裁が可能だ。

記事処理は、新聞の禁則処理を実現、ワンプロなどの「ぶら下げ」や文字語などの無、常に行末が揃った美しい体裁が可能だ。

## 必要機能を網羅

ワープロや汎用DTPソフトでも多段組の新聞形式の文書は作成できるが、見出しや写真説明を適切に作るうとすると手間が掛かる。本ソフトでは、こうした新聞独自の素材をあらかじめ用意し、必要な機能も網羅的に提供している。見出しや写真説明を適切に作るうとすると手間が掛かる。本ソフトでは、こうした新聞独自の素材をあらかじめ用意し、必要な機能も網羅的に提供している。

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

**手帳** 20世紀末に旧「朝刊太郎」を公開して四半世紀近く、こんなに長く使用され続けているのは、情報量の豊富さ、柔軟な編集手段、あるいは、集約的な情報管理の機能にある。朝刊太郎改は、この20年余りで見出しや写真説明を適切に作るための機能が充実している。また、改訂された「朝刊太郎改」が、より柔軟な編集手段、あるいは、集約的な情報管理の機能にある。朝刊太郎改は、この20年余りで見出しや写真説明を適切に作るための機能が充実している。

**手帳** 20世紀末に旧「朝刊太郎」を公開して四半世紀近く、こんなに長く使用され続けているのは、情報量の豊富さ、柔軟な編集手段、あるいは、集約的な情報管理の機能にある。朝刊太郎改は、この20年余りで見出しや写真説明を適切に作るための機能が充実している。

## 独自の組版 直感的な操作

一般的なワープロやDTPソフトと異なる独自の新聞組版を直感的な簡易操作で行える。見出しや画像を紙面に配置する「置く」作業。だいたいの位置をダブルクリックすれば最も近い素材が紙面に自動的にくっつく。記事を区切る縦の罫線は、矩形等のだいたいの近くをドラッグすれば、やはり密着する。記事もアバウトな位置指定で、右の素材の隣から流れる。

## 充実ヘルプ 100超

ヘルプは総ページ数が豊富で、スクリーンショットで使う方法を解説している。紙面例も多数あり、操作のイメージがわかりやすい。また、関連するヘルプ一覧が表示され、ブラウザで該当ページの全文を開ける。ヘルプ内の全文検索も可能で、サイトには検索ボックスやA&Aも用意している。

このPDFはCCライセンスで配布され、営利・非営利を問わず自由に利用できます。変更は不可です。

CC BY ND

# 新聞編集に特化 18年ぶり正式版

本格的な「新聞」を作成するための機能を備えている。新聞独特の見出しは、もちろん、写真の説明文処理や、コラムや連載等の箱組も作れる。記事処理は、新聞の禁則処理を実現、ワンプロなどの「ぶら下げ」や文字語などの無、常に行末が揃った美しい体裁が可能だ。

## 独自の禁則 自動で実現

ワープロなどとは異なる、新聞独自の禁則処理が自動で行われるのも特徴である。句読点や括弧類など、文頭の文末には配置できない禁則文字や、ワンプロのような、句読点等の約物を平角分の領域で描画する。半角描画ができない場合は、文字間を均等に空ける。本ソフトでは、これらの処理を、完全に自動で行う。

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える



1月1日(仮)

銀河系太陽系第3惑星 太郎通信

朝刊太郎改の置き場 https://chokantaro.com/

### ぎょうの紙面

- 強力な全文検索機能
- ルビや異体字に対応
- 「雛形」で素材再利用

通り終えてからの編集も出来る。横組・縦組両方に対応。横書きの紙面作成も可能で、一般的な縦書き紙面の中に横書きの箱組を置くことももちろん出来る。

## 独自の禁則 自動で実現

ワープロなどとは異なる、新聞独自の禁則処理が自動で行われるのも特徴である。句読点や括弧類など、文頭の文末には配置できない禁則文字や、ワンプロのような、句読点等の約物を平角分の領域で描画する。半角描画ができない場合は、文字間を均等に空ける。本ソフトでは、これらの処理を、完全に自動で行う。

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

## ショートカットキー充実



主なショートカットキー	
タグ(文字修飾)操作	
太字にする	Ctrl+B
ゴシックにする	Ctrl+G
ルビを付ける	Ctrl+R
末尾揃えにする	Ctrl+End
タグ囲み範囲選択	Ctrl+T
選択タグの編集	Ctrl+E
選択タグの削除	Ctrl+D
選択タグ全削除	Ctrl+Alt+D
1文字消し出し	Ctrl+O
紙面上素材の移動	
1段上下に移動	↑/↓
1行左右に移動	←/→
1文字分上下移動	Alt+↑/Alt+↓
紙面上素材の拡大・縮小	
1行分拡大	Ctrl+L/Ctrl+R
1行分縮小	Shift+Ctrl+L
1文字分拡大・上	Ctrl+Alt+U
1文字分拡大・下	Ctrl+Alt+D
1文字分縮小・上	Shift+Ctrl+Alt+U
1文字分縮小・下	Shift+Ctrl+Alt+D
画像編集	
トリミング開始	Shift+Ctrl+Alt+T
画像の拡大・縮小	PageUp/PageDown
使用部分の移動	↑/↓/←/→
トリミング終了	Enter
見出し編集	
見出し文の移動	Ctrl+↑/↓
メイン画面	
紙面を全体表示に	Ctrl+W
紙面を再描画する	F5
紙面内の全文検索	Shift+Ctrl+F
レイアウト操作	
仮空白の作成	Alt+Space
各種編集画面	
保存して編集終了	Shift+Ctrl+S

操作を手早く行うショートカットキーが100種類以上用意されている。頻りに紙面を作成する場合、覚えれば大幅に作業効率が上がる。

特に一部ゴシックなど文字修飾のタグ用のショートカットは、記事編集画面、見出し、写真説明文で共通。ゴシックは [Ctrl+G]、ルビは [Ctrl+R] など覚えやすいキー設定になっている。また、タグの再編集や削除には、まず範囲選択が必要だが、マウスのダブルクリックやドラッグよりも [Ctrl+T] を使えば一発で楽に選択できる。選択状態で [Ctrl+D] を押せばタグ削除になる。

紙面上で矩形の拡大・縮小・移動はマウスドラッグで可能だが、1行単位、1文字単位の微妙な操作だとキー操作の方が確実に行える。

記事、見出しなど各種の編集画面では特に [Ctrl+Shift+S] で一気に保存終了できる。箱組の中の写真を編集している場合など、ShiftとCtrlを押したままSキーを連打すれば、すべて保存終了した状態で紙面に戻る。

作者が特にお勧めなのは、クリック位置から幅いっぱい仮空白を作る [Alt+Space] キー。トップの横見出し用の仮空白等はもちろん、食い込んだ矩形に幅ぴったり作成するときなど、レイアウト操作の強い味方になるだろう。

## 「新聞」一気に印刷

複数頁センターワイドも

たとえば一面から最終面まで計8ページ印刷できる。新聞を一気に印刷する。



「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

雲の名は。①

縦書きでは「強い上昇気流の影を、鉛直方向へ発達して、雲頂が時々は成層圏下部にまで達する」とある。大きな雲(ウイキペディア)のこの文章を引用したい。しかし、これは筆算写真とて、縦書きでは「強い上昇気流の影を、鉛直方向へ発達して、雲頂が時々は成層圏下部にまで達する」とある。大きな雲(ウイキペディア)のこの文章を引用したい。

## 雲頂、時に成層圏へ

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

## 雛形化

雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。

雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。

## 定期発行 強い味方

学校新聞や社内報など継続的な発行に役立つ機能が満載。一度作った紙面や箱組、見出し等の素材を、最低限の操作で再利用できる「雛形」機能。4頁建てなど複数頁を一気にプリンタで印刷できる「新聞印刷」。マウスいらずで編集操作が可能なキー設定も充実している。

## 「雛形」登録で 作業を効率化

箱組や見出し、画像も

雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

このPDFはCCライセンスで配布され、営利・非営利を問わず自由に利用できます。変更は不可です。

CC BY ND

## 「雛形」登録で 作業を効率化

箱組や見出し、画像も

雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。

## 「雛形」登録で 作業を効率化

箱組や見出し、画像も

雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。雛形は雛形として保存し、別の紙面へ呼び出して再利用することが出来る。

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

